

# TPP交渉反対 小矢部市議会が意見書採択

## 12月議会報告

小矢部市議会は「TPP  
環太平洋経済連携協定」  
交渉参加反対を求める意  
見書を採択しました。

### 一般質問

TPP交渉と  
農業再生の両立は無理

砂田市議 TPPは、例外なく  
関税をゼロ、医療、食品安全、  
保険などすべての分野でアメリカの  
基準に合わせなければならない。TPP  
参加と日本農業の再生を両  
立させることが、逆立ちしても  
両立など不可能。市長は日  
本はTPPに参加するなと明言し  
ていただきたい。

国内農業生き残り対策  
を講じない限り、反対の  
立場で運動していく

桜井市長 農業分野において経  
済提携に耐えられる対策を確立  
した上で慎重に議論されるよう市  
長会を通じて働きかけてほしい。  
輸出企業中心の経済界は輸出メ  
リットを強調しているが、大きな痛  
みを強いられるのは農業だ。  
一番大切なことは、民を飢えさ  
せないこと。農林水産省の試算で

## TPP交渉参加反対 を求める意見書

小矢部市議会

1 TPP交渉への参加について  
は、すみやかに撤回するこ  
と。

2 多様な担い手や地域がいき  
いきと暮らせる、新たな日本  
型の農業施策を講ずること

は国内農業生産額が4兆円に半  
減し、食料自給率が14%に低  
下。現時点でTPPに参加すれば  
日本の農業が壊滅し日本の農村そ  
のものが維持できないことは明白で  
あり、日本が失う国益は経済界が  
言っばと小さくないことを強く訴  
えたい。  
国の財政支援、国内農業の生き  
残り対策を講じない限り、反対の  
立場で運動していかねばなら  
ない。

## 下水道計画の見直しを

散居村では浄化槽方式で

砂田市議は下水道計画の見直しにつ  
いて、市内全域下水道化に50年以上か  
かるのは遅すぎる。散居村では浄化槽に  
すればもっと早く、経済的にも安くでき  
ると迫りました。

産業建設部長は現在の事業費ペー  
スでは完成までは50年以上かかること  
になり、今後は下水道事業費のペースを  
上げていまい上に整備進捗をはかりた  
い。現行の合併処理浄化槽設置補助の  
他に新たな設置支援策を検討してし  
て答えました。

### 下水道未整備地区の 整備完了期間

浄化槽で9年、  
下水道で39年

小矢部市の下水道整備の現状は公

共下水道55.1%

農村集落排水事業

9% 浄化槽設置事

業8.7%、合わせて

72.8%でたいへん

遅れています。下水

道未整備地域は正

得、若林、水島、荒

川、宮島、南谷、埴

生、数波、東蟹谷、

津沢などで、3082

世帯です。これを下

水道で整備すると建設費は19.3億円、

浄化槽では4.3億円です。建設費に年間

5億円使えば、浄化槽方式では9年間で

完了ですが、下水道方式では39年間に

かかります。

ところが富山県は浄化槽の維持管理

費が7年間2.4億円もかかり、下水

道では6.4億円ですむから、下水道が有

利だということです。この結論を導くため



環境省の担当者(右端)から下水道計画見直しについて見解  
をたずねる砂田市議(中央)と1月24日、参議院議員会館会議室

に、浄化槽の維持管理  
費に浄化槽汚泥の処  
理費用を加えるなど、  
水増しを押しつけてい  
ます。この問題で砂田  
市議は環境省に見解  
をたずねました。全国  
どこでも富山県のおよ  
ぶことはしていません。  
環境省が示すようにそ  
れを除けば、浄化槽の  
維持管理費は1.6億  
円で済み、浄化槽が有  
利となります。

## 水道料金値下げを

砂田市議 水道料金の引き下げを求  
めたい。  
産業建設部長 水道料金の引き下げ  
として住民に還元できるような受水単  
価や受水量の引き下げとなるように、  
県企業局に働きかけてほしい。

## 住宅リフォーム助成制度を

### 経済波及効果おおい

不況で仕事が減って困っている  
業者から歓迎されている。置  
屋、塗装業など建築関連業も  
受注が増えており、波及効果が  
大きい。  
砂田市議 住宅リフォーム助  
成制度は、内需中心の経済回復  
効果的ですので、全国一律の自  
治体で実施している。住宅をリ  
フォームしたい住民に自治体が  
一定額の補助をするもの、実施  
している自治体では、工事を地  
元の中小、零細建築業者に発注

### 市民二十ス

### 先進地を調査する

産業建設部長 市の住宅リ  
フォーム助成制度は、政策課題  
国が推進する省エネ住宅、耐  
震改修、介護支援、林業振興な  
どに基づいた増改築に助成し  
ている。家屋の修繕補修、模様  
替え、増築などリフォームすべ  
てを対象とした助成制度の創設  
に際しては、個人資産の形成に  
つながるといって観点から、その政  
策目的を明確にする必要がある  
り、今後リフォーム助成の市民  
の二十スや先  
進地の状況を  
調査して判断  
したい

## 機械を市が借り上げ除雪 地域社会の維持に大切

今冬の豪雪で使った除雪費は約1億9千  
万円。公共事業の減少で重機を持たない  
業者が増えることで、市が除雪機械を38  
台借り上げ建設業者に貸しています。この  
レンタルリース料と業者機械借り上げ49  
台分などの固定費は4千5百万円です。  
費用はかかりますが、通勤通学、物流  
など地域社会を維持するにせよ、経費  
です。  
最近、福岡の方から小矢部市はきれいに  
除雪されていると、いわれました。新雪10  
センチで除雪車出動は、1987年以来的の方  
針です。砂田市議の早朝除雪をこの提案  
が実ったものです。